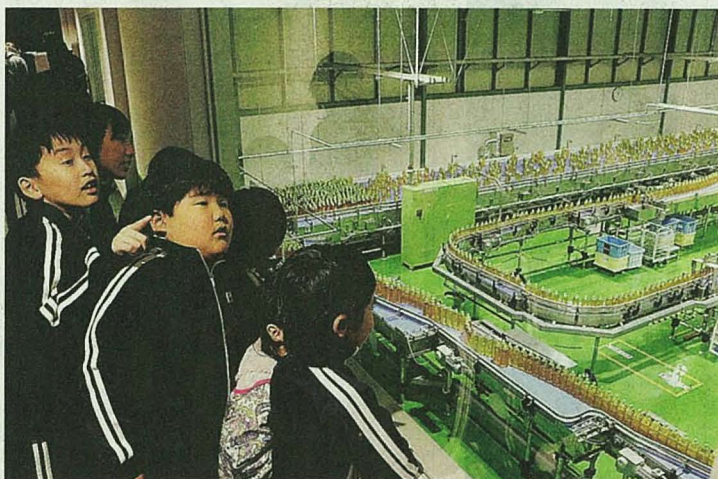


神 河

大量のペットボトルに歓声

お茶などを製造の工場



長谷小児童30人が見学

ペットボトル飲料を製造するキンキサイイン(姫路市)は、3月に稼働した新しいラインで、大手メーカーのお茶

ペットボトル飲料の製造工程を見学する児童たち
 〓 神河町福本

などの製造工程をガラス越しに眺められる。解説用のモニターもあり、早速、地元の児童を案内した。

同工場(敷地面積約6畝)は2003年に操業を開始した。12年ぶりの増設となった「3号ライン」は最新のロボットで省力化。緑茶やウーロン茶の生産能力は既存ラインの1・4倍に高まった。

見学通路ではペットボトルのラベリングや梱包作業が見られる。飲料の充填の他、お湯や茶葉のタンク内調査など、外観で分かりにくい工程はモニターの映像も交えて解説する。受け入れの初日となった

22日、同町長谷の長谷小学校の児童約30人は、目の前を流れていく大量のペットボトルに大歓声。従業員が「500リットル入りなら1日120万本作る。みんなと先生が1日1本飲むとしたら1000年分」と話すと、目を丸くしていた。

6年生の樋川ひなたさんは「よく買って飲むお茶が、こんなに身近で作られているとは思わなかった」と喜んだ。キンキサイイン総務課の稲角徹郎係長は「製品や工場に親しみを持ってもらうきっかけになればいい」と話している。

見学無料。要予約。キンキサイイン ☎079・280・3185 (井上太郎)